



# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 5 年 / 月 20 日

岡山市長 大森雅夫 様

ヒラジマケンコウフクシイインカイ  
 団体名 平島健康福祉委員会 (HKF)  
 所在地 [REDACTED]  
 連絡先 [REDACTED]  
 フリガナ カサキヨシテ  
 代表者 会長 柿崎由秀

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> 地域計画づくり <input type="radio"/> 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 8 回目 / 【 28 年度から】
課題	・ コロナ禍にあって、特に子どもたちや高齢者が集い交流する場がきわめて少なくなっていることにより、人間と人間の関係性がますます希薄化してきており、この現状を少しでも打破しなければならない
事業の目的	・ 各事業の活動を通して平島学区の住民が支え合い、より一層顔の見える関係作りができること ・ 地域の住民に住み心地の良い所だと実感してもらい、いつまでも住み続けてもらうこと ・ 住民一人一人がわずかでも良いので、支え合う地域づくりの一員になることを意識してもらえるようになること

<p>事業の内容・感染防止対策の内容</p>	<p>&lt;新規事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平島っ子広場（小学生のための学習の場）</li> </ul> <p>&lt;従来からの事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスの提供</li> <li>・井戸端カフェの開催</li> <li>・介護予防教室の開催</li> <li>・健康福祉研修会の開催</li> <li>・HKFニュースの発刊</li> <li>・その他（小地域ケア会議、敬老会、振興まつり）の支援</li> </ul> <p>※感染防止対策の内容・方法は今まで通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三密を避けてマスク、消毒、換気、手洗いの徹底</li> </ul>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の推進により“支え合いのまちづくり”の実現</li> <li>・近隣地域との交流と多世代のふれあいによりコミュニティの輪が更に拡大すること</li> <li>・一人でも多くの高齢者が元気で輝きながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ること</li> <li>・本会の「自助・互助の理念」が地域に浸透し、地域住民のつながりが更に深まること</li> </ul> <p>&lt;目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業への参加者および利用者を、前年度比1割アップを目指す</li> </ul>
<p>企画などの工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍によりなかなか三世代交流ふれあいサタデイが再開できないため、代わりに「平島っ子広場」を令和5年1月より開設しスタートしている</li> <li>・岡山学芸館高校の社会福祉システムデザインゼミとコラボしながら「介護予防教室」や「平島っ子広場」をステップアップしていく</li> <li>・市内他地区の活動団体との交流に ZOOM を活用する</li> <li>・井原、笠岡地区との福祉活動に関する情報交換会の実現</li> <li>・広く地域の老若男女と一緒に気軽に活動ができる仕組みづくりのために、HKF 運営の中に「サポーター（協力員）システム」を導入する</li> </ul>
<p>協働する団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24 団体）や平島振興事業推進協議会、及び公民館と協働しながら各活動を継続実施</li> <li>・ケースバイケースで上道学区や瀬戸学区の各種団体と交流しながら連携を図っていく</li> <li>・年に1～2回、岡山学芸館高校（社会福祉システムデザインゼミの生徒）との交流活動</li> </ul>

事業の 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2～3回、HKFニュースを学区の全世帯に配布</li> <li>・平島安全安心ネットワークニュースへの投稿</li> <li>・平島連合町内会ホームページへの投稿</li> </ul>
学区 地区 への 広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回はHKF研修会を単一町内会の集会場へ出張し出前開催している</li> <li>・近隣他学区の活動団体との交流を通してお互いが切磋琢磨できる環境づくりの支援（瀬戸町公民館との「防災研修会」や「ZOOM研修会」でコラボ活動実施中）</li> <li>・コロナ次第だが、上道中学校の生徒さんに対し“三世代交流ふれあいサタデー”開催時に、ボランティア要請の働きかけができるよう繋がりを確保しておく</li> </ul>
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は感染対策の観点から「三世代交流ふれあいサタデー」は実現できなかったが、代わり社協さんとの関係で、岡山学芸館高校の生徒さんと交流することができた。</li> <li>・「HKF出前研修会」については、久々に西部町内会で開催することができた。</li> </ul> <p>&lt;見直し点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HKFの運営を“サポーターシステムの導入”などにより少しずつ見直しを図っている</li> <li>・「三世代交流ふれあいサタデー」ができない代わりに「平島っ子広場」開設をすることができた</li> <li>・QRコードの活用による「生活支援サービス」に関するアンケート調査は諸事情でできなかったが今年度は実現させる方向で予定している</li> </ul>
次 年 度 以 降 の 予 定	<p>① 次年度以後の活動計画 ウイズコロナに対応しながら、これまで進めている5事業プラス「平島っ子広場」事業を新たに展開していく予定</p> <p>② 資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/> ( 2～3 ) 年後には、行政からの助成金がなくても自己資金で活動ができるよう、自立を目指しているが、現実はなかなか難しい状況である</p> <p>資金確保の具体的な方策：生活支援チケット券の販売や各事業での参加費の徴収、地域の団体や企業などからの協賛金などは今後も継続して実施の予定である</p>

その他PRしたい点

・現在、ZOOM 活用による情報交換の場は毎月第二月曜日（19：30～20：30）に定期的に開催しています

昨年は勉強のために他地区より実際に参加された方もおられました

メンバーの制限はしておりませんので参加されたい方はどうぞ

“かんなの会” ミーティング ID：83741605390 パスコード：086928

・コロナ禍で事業の継続にはいろいろリスクが伴って難しくなっていますが、“無理をせず細く長く” “今、動ける人が動く” をモットーに頑張っています

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会、小地域ケア会議、定例会は2か月ごとに開催</li> <li>※ 生活支援サービスは年中、井戸端カフェは原則、毎月第2土および第4土開催、介護予防教室は毎週土開催、平島っ子広場は毎月第3土開催</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKFニュース発刊</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKF研修会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ケア会議、安全安心ネットワーク祭</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平島っ子広場特別開催</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKF研修会（出前）、敬老会、HKFニュース発刊</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ケア会議、視察研修</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興まつり</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKF研修会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ケア会議、HKFニュース発刊、第3回学芸館ひだまりの会</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回学芸館高校陽だまりの会</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKF研修会</li> </ul>

# 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	135,000	157,000	
実施団体負担金	42,000	42,000	会費
参加者負担金	28,000	30,000	サービスチケット代、カフェ参加費など
協賛金	50,000	50,000	
寄附金、他収入	25,000	25,000	地域企業など
収入合計	280,000	304,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	20,000	コピー用紙、紙コップなど
②食糧費	35,000	40,000	お茶代など
③印刷製本費	35,000	30,000	印刷代
④燃料費	20,000	10,000	ガソリン代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	60,000	60,000	携帯電話代、切手代など
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料	50,000	30,000	コミュニティハウス使用料など
⑩原材料費			
⑪委託料	15,000	24,000	
⑫工事請負費			
⑬報償費	15,000	30,000	講師謝礼
⑭保険料	10,000	20,000	ボランティア保険
⑮旅費		30,000	研修時交通費
小計(①)	270,000	294,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	10,000	10,000	アルコール消毒液、ペーパータオル、 マスク等
小計(②)	10,000	10,000	
支出合計(①+②)	280,000	304,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

活動資金にあまりゆとりが無いため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。